

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	4	土地改良費	268

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	下水道事業会計繰出金
事業目的	農業集落排水事業の適切な事業運営を図る
事業内容	<p>●下水道事業会計繰出金 49,861,000円</p> <p>農業集落排水事業の適切な事業運営を図るため、企業債及び人件費等の経費について、一般会計より繰り出す。</p>
事業の成果・効果	一般会計より繰り出したことにより、農業集落排水事業の適切な事業運営が図れた。

II : 個別事業内訳

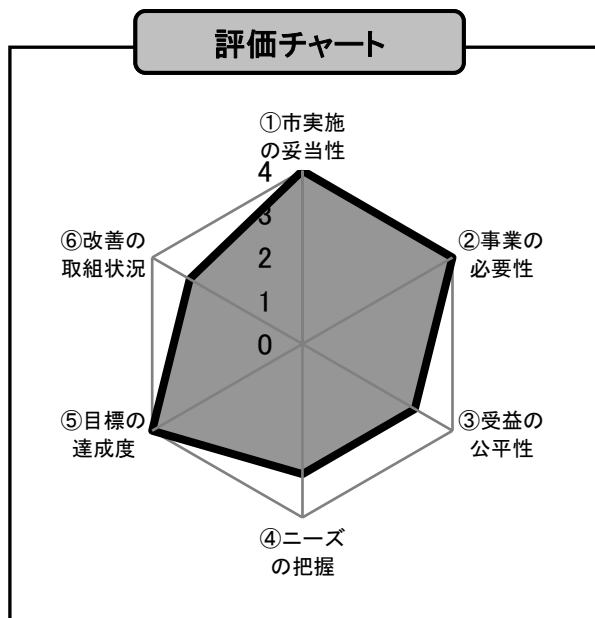
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
下水道事業会計繰出金	49,861	0	49,861	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	49,861	0	49,861	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		53,943	49,861	59,940
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	53,943	49,861	59,940
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	農業集落排水事業区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	3	農業集落排水事業区域の市民が対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	農業集落排水事業区域の市民生活に必要な事業で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	農業集落排水事業の運営及び施設の適切な維持管理・整備を行った。
⑥改善の取組状況	3	県道部に埋設されている管路の状態を把握するため、管路調査を実施した。令和4年度からの老朽化及び不明水の対策事業費を確保するため、県の補助金を活用できるよう調整を図った。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	老朽化及び不明水の対策として、管路調査及び更生工事を実施。
令和4年度に見直しを実施している事項	老朽化及び不明水の対策のため、県の補助金を活用し管きょ更生工事を実施する。不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。
今後見直しを検討する事項	不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
処理場、管きょの維持管理 (老朽化、不明水対策)	処理場については、最適化構想等に基づく修繕、更新の実施。管きょについては、管きょ更生工事による長寿命化及び管きょ布設替の両面にて進め、老朽化及び不明水の対策を図っていく。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	4	7	公共下水道費	304

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	下水道事業会計繰出金
事業目的	公共下水道事業の適切な事業運営及び推進を図る
事業内容	<p>●下水道事業会計繰出金 940,782,000円</p> <p>公共下水道事業の適切な事業運営及び推進を図るため、企業債及び人件費等の経費について、一般会計より繰り出す。</p>
事業の成果・効果	一般会計より繰り出したことにより、公共下水道事業の適切な事業運営が図れた。

II : 個別事業内訳

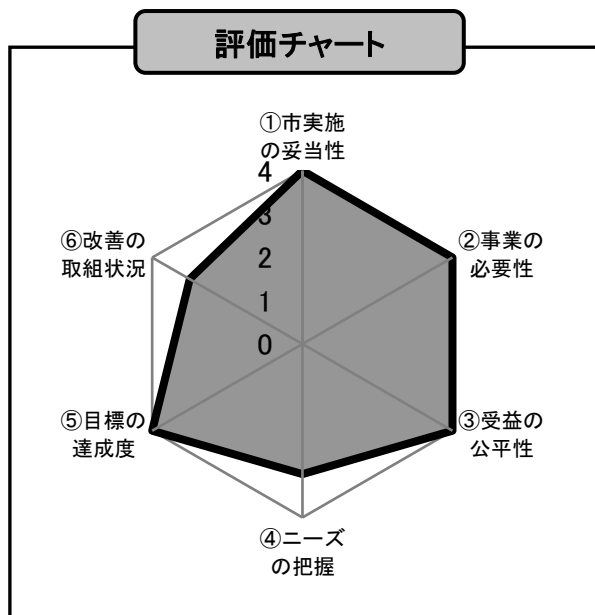
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
下水道事業会計繰出金	940,782	0	940,782	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	940,782	0	940,782	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		909,353	940,782	963,304
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	909,353	940,782	963,304
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。
②事業の必要性	4	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	公共下水道事業の運営及び施設の適切な維持管理・整備を行った。
⑥改善の取組状況	3	業務の効率化などの推進を図るため、管路調査の業務委託について、一宮建設事務所管内5市2町にて、共同発注に向けての準備を進めた。五条川右岸の事業計画を拡大し、令和4年度社会資本整備総合交付金の対象事業とした。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	管路調査を実施する路線は、管種、管齢により選定している。それに加え、マンホール内の不明水発生状況を目視により確認し、調査を行った。管きよ更生工事の事業量を増やして、老朽化及び不明水の対策を実施。
令和4年度に見直しを実施している事項	業務の効率化などの推進を図るため、管路調査業務委託の共同発注について、関係市町との協定締結を進める。不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。市街化区域及び前原台団地以外の下水道計画区域の未整備地区について、整備の在り方を検討。5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。
今後見直しを検討する事項	不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。市街化区域及び前原台団地以外の下水道計画区域の未整備地区について、整備の在り方を検討。5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
管きよの維持管理 (老朽化、不明水対策)	管きよの維持管理については、ストックマネジメント計画等に基づく管きよ更生工事による長寿命化及び管きよ布設替の両面にて進め、老朽化及び不明水の対策を図っていく。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	公共下水道事業（汚水・雨水）・収益的収支
事業目的	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道事業の運営及び施設の適切な維持管理を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○使用者からの適正な使用料徴収と、下水道管きよ、マンホールポンプ場等の適切な維持管理を行う。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○汚水管渠費 46,531,531円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・管きよ、マンホールポンプ等修繕</li> <li>・マンホールポンプ保守点検委託</li> <li>・管路調査委託</li> </ul> </li> <li>○普及指導費 14,982,000円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事務委託</li> </ul> </li> <li>○業務費 31,364,423円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道使用料徴収事務委託</li> </ul> </li> <li>○総係費 32,104,774円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員人件費等</li> </ul> </li> <li>○流域下水道維持管理負担金 424,276,033円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川左岸・右岸流域下水道維持管理負担金</li> </ul> </li> <li>○減価償却費、資産減耗費 869,145,594円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物・構築物等減価償却費、施設利用権減価償却費、構築物等除却費</li> </ul> </li> <li>○支払利息及び企業債取扱諸費（営業外費用） 111,962,467円</li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	公共下水道事業の運営及び施設の適切な維持管理を実施した。

II : 個別事業内訳

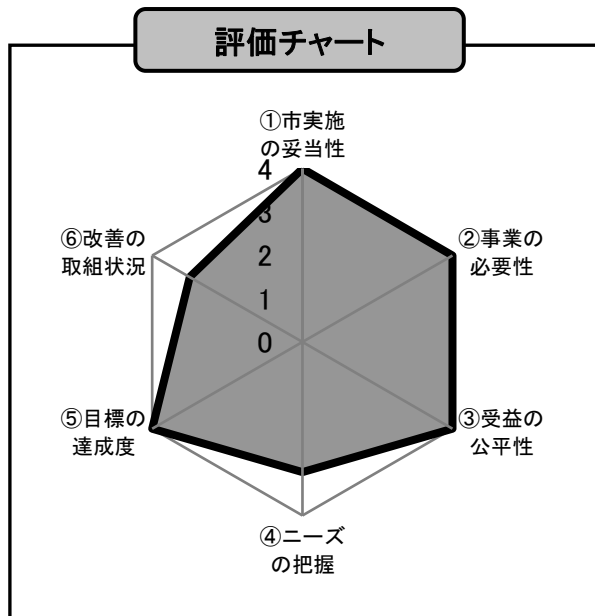
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
汚水管渠費	46,532	46,532	0	0%	3	3	3
普及指導費	14,982	14,982	0	0%	3	3	3
業務費	31,364	31,364	0	0%	4	4	4
総係費	32,105	32,105	0	0%	3	3	3
流域下水道維持管理負担金	424,276	424,276	0	0%	3	3	2
減価償却費、資産減耗費	869,146	869,146	0	0%	3	3	3
営業外費用、特別損失	112,625	112,625	0	0%	3	3	3
合計	1,531,030	1,531,030	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		1,544,495	1,531,030	1,596,193
財源内訳	国県支出金	7,100	5,900	5,400
	地方債	0	0	0
	その他	1,537,395	1,525,130	1,590,793
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。
②事業の必要性	4	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	公共下水道事業の運営及び施設の適切な維持管理を行った。
⑥改善の取組状況	3	業務の効率化などの推進を図るため、管路調査の業務委託について、一宮建設事務所管内5市2町にて、共同発注に向けての準備を進めた。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	管路調査を実施する路線は、管種、管齢により選定している。それに加え、マンホール内の不明水発生状況を目視により確認し、調査を行った。
令和4年度に見直しを実施している事項	業務の効率化などの推進を図るため、管路調査業務委託の共同発注について、関係市町との協定締結を進める。 不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。 5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。
今後見直しを検討する事項	不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。 5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
管きよの維持管理 (老朽化、不明水対策)	管きよの維持管理については、ストックマネジメント計画等に基づく管きよ更生工事による長寿命化及び管きよ布設替の両面にて進め、老朽化及び不明水の対策を図っていく。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	公共下水道事業（污水）・資本的収支
事業目的	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道施設の整備を行う。
事業内容	<p>●全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○五条川右岸処理区及び左岸処理区の下水道整備を行う。</li> <li>○老朽化した管きよの更生工事を行う。</li> <li>○大規模地震に備え、下水道施設の耐震化及びマンホールトイレの設置を行う。</li> </ul> <p>●主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○污水管路建設費 520,415,649円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川右岸処理区の整備（犬山東三条、西三条、北首塚地区外）</li> <li>・五条川左岸処理区の整備（楽田番前地区（富岡荒井線関連）、前原台団地（前原1号污水幹線））</li> <li>・マンホールトイレの設置（犬山高校）</li> <li>・可とう継手設置（犬山地区外）</li> <li>・測量実施設計委託 （右岸処理区：犬山妙覚、西馬場先、東馬場先地区外 左岸処理区：楽田番前地区）</li> </ul> </li> <li>○污水管路改良費 63,052,000円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管きよ更生工事（楽田・犬山地区）</li> </ul> </li> <li>○流域下水道建設負担金 40,238,883円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川左岸、右岸流域下水道建設負担金</li> </ul> </li> <li>○企業償還金 746,669,393円</li> </ul>
事業の成果・効果	<p>五条川右岸処理区の15.5haの整備をし、供用開始をした。  前原台団地の接続に向けて、前原1号污水幹線の整備を行った。  富岡荒井線の整備に併せて、楽田番前地区の整備を行った。  地震対策として、犬山地区などで可とう継手を設置した。また、犬山高校にマンホールトイレを設置した。  楽田地区などにおいて、管きよ更生工事を行った。</p>

II : 個別事業内訳

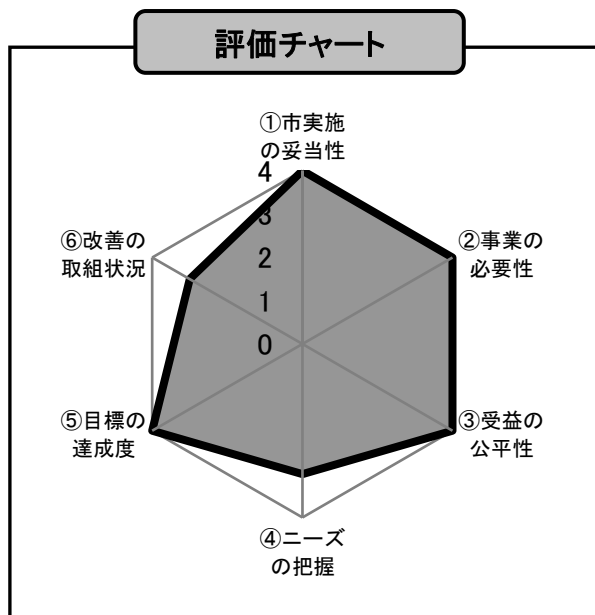
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
污水管路建設費	520,416	520,416	0	0%	3	4	3
污水管路改良費	63,052	63,052	0	0%	3	3	3
流域下水道建設負担金	40,239	40,239	0	0%	3	3	3
企業償還金	746,669	746,669	0	0%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,370,376	1,370,376	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		1,215,441	1,370,376	1,441,275
財源内訳	国県支出金	168,500	202,800	188,701
	地方債	218,900	318,000	392,200
	その他	828,041	849,576	860,374
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。
②事業の必要性	4	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	公共下水道を利用できる区域の市民生活に直結している事業であり、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	公共下水道の整備を計画通り行い、予定した区域の供用開始を行った。老朽化及び不明水の対策として、管きよ更生工事を行った。地震対策事業として、可とう継手の設置及び犬山高校にマンホールトイレを設置した。
⑥改善の取組状況	3	五条川右岸の事業計画を拡大し、令和4年度社会資本整備総合交付金の対象事業とした。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	管きよ更生工事の事業量を増やして、老朽化及び不明水の対策を実施。
令和4年度に見直しを実施している事項	不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。 市街化区域及び前原台団地以外の下水道計画区域の未整備地区について、整備の在り方を検討。 5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。
今後見直しを検討する事項	不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。 市街化区域及び前原台団地以外の下水道計画区域の未整備地区について、整備の在り方を検討。 5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
管きよの維持管理 (老朽化、不明水対策)	管きよの維持管理については、ストックマネジメント計画等に基づく管きよ更生工事による長寿命化及び管きよ布設替の両面にて進め、老朽化及び不明水の対策を図っていく。



令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	農業集落排水事業・収益的収支
事業目的	入鹿神尾地区の生活環境の改善と農業用水の水質保全を図るため、農業集落排水事業の運営及び施設の適切な維持管理を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○使用者からの適正な使用料徴収と、入鹿神尾地区浄化センター、マンホールポンプ場等の適切な運転管理及び維持管理を行う。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○污水管渠費 7,617,571円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・管きよ、マンホールポンプ等修繕</li> <li>・マンホールポンプ保守点検委託</li> <li>・管路調査委託</li> </ul> </li> <li>○処理場費 13,566,349円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械及び装置修繕</li> <li>・処理場運転業務委託</li> </ul> </li> <li>○業務費 170,736円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業集落排水処理施設使用料徴収業務委託</li> </ul> </li> <li>○総係費 17,857,159円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員人件費等</li> </ul> </li> <li>○減価償却費、資産減耗費 26,135,265円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物・構築物等減価償却費、機械装置等除却費</li> </ul> </li> <li>○支払利息及び企業債取扱諸費（営業外費用） 2,884,381円</li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	農業集落排水事業の運営及び施設の適切な維持管理を実施した。

II : 個別事業内訳

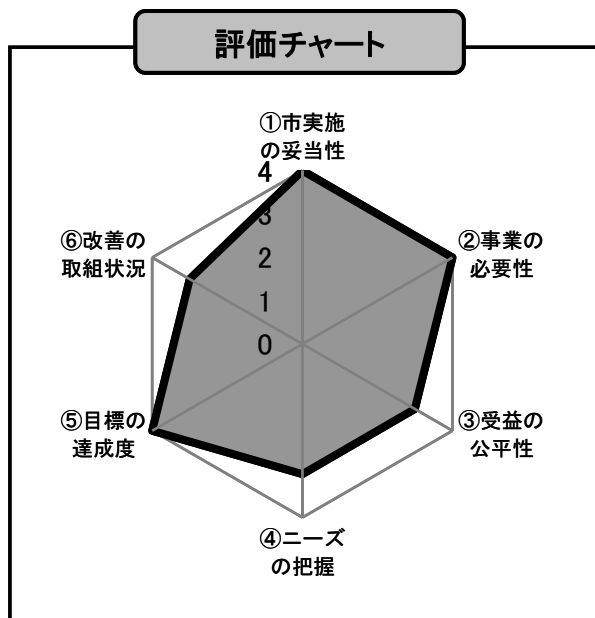
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
污水管渠費	7,618	7,618	0	0%	3	3	3
処理場費	13,566	13,566	0	0%	3	3	3
業務費	171	171	0	0%	4	4	4
総係費	17,857	17,857	0	0%	3	3	3
減価償却費、資産減耗費	26,135	26,135	0	0%	3	3	3
営業外費用	2,884	2,884	0	0%	3	3	3
—	—	—	—	—	—	—	—
合計	68,231	68,231	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		94,943	68,231	66,572
財源内訳	国県支出金	1,848	2,410	0
	地方債	0	0	0
	その他	93,095	65,821	66,572
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	農業集落排水事業区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	3	農業集落排水事業区域の市民が対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	農業集落排水事業区域の市民生活に必要な事業で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	農業集落排水事業の運営及び施設の適切な維持管理を行った。
⑥改善の取組状況	3	県道部に埋設されている管路の状態を把握するため、管路調査を実施した。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	管路の状態を把握するため、管路調査を実施。
令和4年度に見直しを実施している事項	不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。 5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。
今後見直しを検討する事項	不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。 5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
処理場、管きよの維持管理 (老朽化、不明水対策)	処理場については、最適化構想等に基づく修繕、更新の実施。 管きよについては、管きよ更生工事による長寿命化及び管きよ布設替の両面にて進め、老朽化及び不明水の対策を図っていく。

令和3年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課名	下水道課

I : 事業概要

施策事業名	農業集落排水事業・資本的収支
事業目的	入鹿神尾地区の生活環境の改善と農業用水の水質保全を図るため、農業集落排水処理施設の更新等を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の全体計画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○入鹿神尾地区浄化センター及び管きよの計画的な更新・改良工事を行う。</li> </ul> </li> <li>●主な事業内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○汚水管路改良費 3,679,500円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・管きよ更生工事</li> </ul> </li> <li>○処理場建設改良費 924,000円                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場機械設備更新</li> </ul> </li> <li>○企業債償還金 18,274,507円</li> </ul> </li> </ul>
事業の成果・効果	神尾地区において、管きよ更生工事を行った。 入鹿神尾地区浄化センターの機器整備を行った。

II : 個別事業内訳

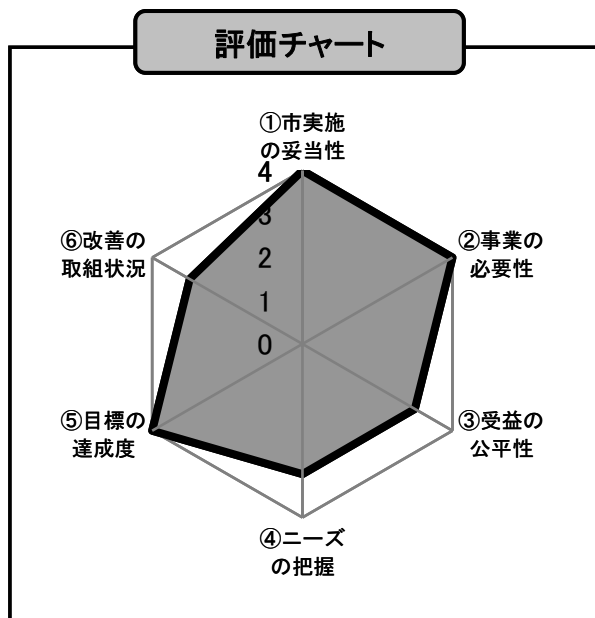
(単位：千円)

(総見直し・総点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総見直し・総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		適時性確保 適応性向上	情報発信 ・共有化	業務の 効率化
汚水管路改良費	3,680	3,680	0	0%	4	4	3
処理場建設改良費	924	924	0	0%	3	3	3
企業債償還金	18,274	18,274	0	0%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	22,878	22,878	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R2決算	R3決算	R4予算
		22,743	22,878	43,778
財源内訳	国県支出金	1,452	220	10,000
	地方債	0	0	0
	その他	21,291	22,658	33,778
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	農業集落排水事業区域の市民生活に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	3	農業集落排水事業区域の市民が対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	農業集落排水事業区域の市民生活に必要な事業で、ニーズはある。
⑤目標の達成度	4	神尾地区において、管きよ更生工事を行った。 入鹿神尾地区浄化センターの機器整備を行った。
⑥改善の取組状況	3	令和4年度からの老朽化及び不明水の対策事業費を確保するため、県の補助金を活用できるよう調整を図った。

Ⅴ：業務の総見直し・総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和3年度に見直しを実施した事項	老朽化及び不明水の対策として、管きよ更生工事を実施。
令和4年度に見直しを実施している事項	老朽化及び不明水の対策のため、県の補助金を活用し管きよ更生工事を実施する。 不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。 5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。
今後見直しを検討する事項	不明水の削減対策について、調査研究を進めていく。 5年毎の経営戦略改訂に向けた調査研究を進めていく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和3年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
処理場、管きよの維持管理 (老朽化、不明水対策)	処理場については、最適化構想等に基づく修繕、更新の実施。 管きよについては、管きよ更生工事による長寿命化及び管きよ布設替の両面にて進め、老朽化及び不明水の対策を図っていく。